

第6回 教育委員会会議録

令和元年5月31日

1. 開 会
2. 会議録署名委員の指名 ～ 坪谷委員、瓜委員
3. 前回会議録の承認 ～ 承認
4. 報 告 報告第1号 教育長報告
5. 議 案 議案第1号 令和元年度赤平市一般会計補正予算に係る意見の申出について 議案第2号 赤平市公民館使用条例の一部改正に係る意見の申出について 議案第3号 赤平市交流センターみらい条例の一部改正に係る意見の申出について 議案第4号 赤平市総合体育館設置条例の一部改正に係る意見の申出について 議案第5号 赤平市営テニスコート条例の一部改正に係る意見の申出について 議案第6号 赤平市虹ヶ丘球場条例の一部改正に係る意見の申出について 議案第7号 赤平市パークゴルフ場条例の一部改正に係る意見の申出について 議案第8号 令和元年度赤平市人材育成・定住促進奨学生決定について 議案第9号 令和元年度赤平市教育行政執行方針について
6. その他
7. 出席教育委員 教 育 委 員 山 本 由美子 教 育 委 員 瓜 郁 夫 教 育 委 員 坪 谷 嗣 香 教 育 委 員 高 澤 司 教 育 長 多 田 豊
8. 傍聴人を除き他に議場に出席した者

学 校 教 育 課 長	大 橋 一
社 会 教 育 課 長	伊 藤 寿 雄
学 校 教 育 課 主 幹	斎 藤 政 弘
学 校 教 育 課 指 導 主 事	内 潟 昭 仁
9. 傍聴人 0人	
会議時間：15時10分～16時35分	

<p>教 育 長</p>	<p>開会挨拶 会議録署名委員の指名 ～坪谷委員、瓜委員 前回会議録 ～瓜委員、山本委員 承認</p> <p>報告第1号 教育長報告について～教育長報告メモに基づき報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5/25 赤平中学体育大会があり委員の皆様の出席に感謝します。例年がない高温で晴天でありました。昨年は校舎完成前であり、仮設の電源、トイレで対応したが、今年は校舎も使用でき、全面使用できることが出来た。 ・5/26 ズリ山展望広場駐車場付近で3回目となる桜の植樹を行いました。天気にも恵まれ、参加者に感謝します。 ・明日の1日は豊里、赤間。2日に茂尻で小学校の運動会が行われます。天気が心配されますが、学校全体で取組む大きな行事であり、学級づくり、学校づくり、学校力を高める機会としてがんばって欲しいと思います。また、今年は大型連休があったことから、準備期間が少なく大変だったと思うが、校長会に対して、体育行事に伴う怪我や事故、トラブルへの対応、特に怪我の程度は本人の話に頼らず、教職員間の連携した判断で、医療機関を含む適切な対応、保護者への連絡等、丁寧な対応をお願いした。 ・今週28日に川崎市で、スクールバスのバス停で児童を含む無差別の殺傷事件が発生した。通学路の安全確保について道教委からの通知もあり、赤平市も各学校へ注意喚起をしました。次の校長会においても再度、屋外行事や校舎の施設等の状況確認についても協議をします。また、21日(火)午後、赤平中学校生徒玄関前に刃物が落ちており、警察に通報するなど、深刻な事件として対応しましたが、生徒の送迎にこられた保護者の車から落とした山菜取り用のものと判明し解決しました。 <p>2.時短運動会の拡大方向について、見聞きしていると思いますが、小学校の運動会を午前中に終了する時短運動会が広まりつつあります。管内では、今年から岩見沢志文小、東小、第3小、芦別小、南美唄小、上砂川小、雨竜小の7校。既に実施しているのは、岩見沢北真小、美唄峰延小で2校。来年以降検討しているのは、岩見沢第2小、奈井江小の2校となります。5/13新聞報道によると、札幌市では、全体の6割超が午前開催となっています。今年状況は199校のうち、124校となる予定で、昨年から41校増えたところです。短縮理由に挙げているのは、英語科の時間確保であります。次期学習指導要領が令和2年度から本格導入される英語の授業時間の確保のため、運動会の競技種目を減らし、事前の練習時</p>
--------------	--

	<p>間を圧縮することで、時数確保を行うものです。或いは、共働き世帯への配慮も理由の一つであります。午前で終了しても、グラウンドや体育館を開放し昼食を取る場所の提供など帰宅を自由にしているとのことであります。</p> <p>3.その他について、家庭訪問のあり方について、近年、実施について減少傾向であると言われてます。報道では、札幌市内の小学校で実施しているのは、29年度は188校だったものが、30年度は139校までに減った。今年度は集計中であるとのこと。近隣では滝川第3小が今年度から止めたとのこと。家庭訪問の減少理由は、時短運動会と同様に英語科の授業が始まるため、教員の業務増や共働き世帯の増加も理由となっています。家庭訪問を実施しない代わりに、学校にて面談したり、教員が児童の自宅を確認するだけと変わってきており、教員の働き方改革が理由となり、今後、学習発表会の簡素化も検討されているようです。</p> <p>・文化財保護行政に関する件について、5/20文化庁の日本遺産に「炭鉄港」が認定された。赤平市関係の構成文化財としては、空知川露頭炭層、北炭赤間炭鉱ズリ山、立坑やぐらと周辺施設の3ヶ所が含まれています。「炭鉄港」の日本遺産の認定効果としては、昨年7月オープンした炭鉱遺産ガイダンス施設が開館2年目となり、知名度を高め、市内外の方々の一層の来館と炭鉱遺産の理解浸透、登録有形文化財等の国指定に向け追い風になると思っています。</p> <p>以上、よろしく報告を終わります。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>議案第1号 令和元年度教育費予算の補正についてご説明いたします。</p> <p>令和元年度教育費予算の補正について、別紙のとおり6月17日開催予定の赤平市議会に提案となりますので、教育委員会の意見をお伺いするものです。</p> <p>4ページの令和元年度教育関係歳入補正予算説明をご覧ください。</p> <p>款20.諸収入、項5.雑入、目1.雑入、節23.過年度収入は、平成30年度要・準用保護生徒就学援助費申請者で、3月の申請時では該当し仮認定となり、5月に修学旅行費70,000円を支給しましたが、6月の市・道民税確定時に家族の収入により非該当であることが判明しました。</p> <p>本来であれば、平成30年度中に戻入してもらおうべきところでしたが、20,000円しか戻入してもらおうことができず、本年度において残金50,000円を戻入してもらおうため、予算科目を新設するものであります。</p> <p>次に、6ページの教育費補正内訳説明（歳出）をご覧ください。</p> <p>項1.教育総務費、目2.事務局費、節12.役務費の305千円及び節13.委託料の39,594千円は、高濃度PCB廃棄物、蛍光灯安定器382台を処理す</p>

	<p>るため、収集運搬手数料及び委託料を計上するものであります。</p> <p>なお、処理期限は令和 4 年度末までと法で定められておりますが、処理事業所が限られていること、また、処理費用が消費税課税対象であることから、本年度 9 月末までに完了する予定としております。</p> <p>項 3.小学校費、目 1.学校管理費、節 7.賃金の 2,843 千円及び節 9.旅費の 5 千円でありますが、豊里小学校の 2 年生と 3 年生の合計が 16 人となり、複式学級となることが 3 月に判明しました。</p> <p>かねてから、保護者説明会等で市教委としては複式学級が発生した場合は、市費の教諭を採用し複式解消を図ると言ってきておりますことから、4 月 22 日から豊里小学校に市費教諭を配置したことによる賃金及び引率旅費を計上するものであります。</p> <p>続きまして、社会教育費につきましては、社会教育課長より説明いたします。</p>
社会教育課長	<p>社会教育課の内容についてご説明させていただきます。</p> <p>今年は選挙の年で、当初予算は継続を優先とする骨格予算となっており、新規事業は 6 月議会で提案することとなっております。</p> <p>6 ページをお願いいたします。歳出の項 5.社会教育費 目 6.交流センターみらい費 節 15.工事請負費でございますが、本年 3 月に屋上の屋根の一部が暴風雪により破損するといった被害を受け、屋上屋根雪害復旧工事費 1,434,000 円の増額補正を提案するものであります。なお、本経費に関しましては、全額保険料の対象となる予定です。</p> <p>次に、目 7.炭鉱遺産ガイダンス施設費 節 15.工事請負費でございますが、昨年開設した後に市外からお越しいただいた見学者の方から、場所が分りにくい目看板を設置して欲しいとの要望も受けたことから、ガイダンス施設看板新設工事費 2,565,000 円の増額補正を提案するものであります。なお、本経費に関しましては、ふるさと納税の寄附金項目に炭鉱遺産活用があるため、全額この寄附金が充当される予定です。</p>
学校教育課長	<p>項 7.学校給食費、目 1.学校給食センター費、節 7.賃金の 6,588 千円の減額及び節 13.委託料の 13,556 千円でありますが、給食センターは、広報あかびら・赤平市ホームページでの募集はもちろんのこと、ハローワークに求人依頼するなど調理員の確保に努めているところですが、数年前から慢性的な調理員不足の状態が続いております。また、この調理員不足の状態は本市に限ったことではなく、近隣市においても、同様な状況にあると聞いております。</p> <p>本来、9 名の調理員が必要なところ、昨年度は、途中採用はしたものの短期間での退職も重なり、常に 2 名程度の欠員が続き、現在は 3 名の欠員</p>

	<p>となっております。そのため、調理員以外の給食センター職員も厨房に入り対応するなど、調理員及び給食センター職員に過重な負担を強いており、調理員からは、体力的に限界との声が上がっているところです。</p> <p>このような状況がこれ以上続きますと、食中毒など衛生面での懸念、事故など安全面での懸念があり、最悪の場合、学校給食を提供することができなくなる可能性があると考えております。これらのことを踏まえ、昨年度から理事者及び財政課長などと協議検討を重ねてきた結果、調理員の定数確保のためには、調理業務を直轄方式から民間委託方式に変更し業務改善を図るべきとの結論に至ったところです。</p> <p>なお、給食センターの調理員に対しましては、本年 1 月に、私達の方から民間委託化の方向で検討していることを伝え、理解をいただいております。</p> <p>今後の予定としましては、6 月定例会において補正予算を可決していただきましたら、その後入札を執行して業者を選定し、10 月からの給食調理業務の民間委託化を目指します。入札参加予定の実績のある業者に対しては、委託の条件として、現在在籍している調理員で就職を希望する調理員は全員雇用すること、9 名の定数は必ず確保し調理員の負担を軽減すること、待遇を現状より悪くしないこと、この 3 点を提示した上で、入札参加の意思を示していただいております。また、民間委託化によるメリットとしましては、これ以外に、令和 2 年度から導入されます会計年度任用職員制度における効果が考えられます。</p> <p>業者に来年 4 月からの委託契約を打診したところ、本市以外の自治体でも会計年度任用職員制度を見据え委託化を検討しているところが多数あるため、それでは受託することができないとの返答を受けており、その場合、受託業者が見つからないという状況になることが想定されます。</p> <p>以上のことから、学校給食の安定的な提供に努めるため、給食調理業務の民間委託化を目指しておりますことから、賃金を減額し委託料を計上するものであります。</p> <p>1 ページ戻っていただき、5 ページをご覧ください。</p> <p>今回の提案する歳出の補正総額は 53,714 千円で、教育費予算の総額は 715,990 千円となります。</p> <p>以上、よろしくご審議くださいますようお願いいたします。</p>
山本委員	給食センターは委託と直営での費用はどちらが高いのか。
教育長	委託の方が高くなります。
山本委員	冷凍食品に変更や地産地消が無くなる事が心配。

瓜 委 員	センターを使用するのか。
学校教育課長	調理員の身分が変わるだけで、給食センターを使用し、献立、材料の発注も変わりなく、栄養士が行います。材料も市内から調達します。
教 育 長	議案第 1 号 令和元年度赤平市一般会計補正予算に係る意見の申出について 了
学校教育課長	議案第 2 号から第 7 号につきまして、各条例の一部改正について、別紙のとおり 6 月 17 日開催予定の赤平市議会に提案となりますので、教育委員会の意見をお伺いするものです。 なお、改正の内容につきまして、社会教育課長より一括で説明いたします。
社会教育課長	議案第 2 号から議案第 7 号の赤平市公民館使用条例、赤平市交流センターみらい条例、赤平市総合体育館設置条例、赤平市営テニスコート条例、赤平市虹ヶ丘球場条例、赤平パークゴルフ場条例の一部を改正する条例の意見の申し出について、提案理由のご説明させていただきます。 7 ページから 25 ページまでとなりますが、本年 10 月 1 日から消費税及び地方消費税を 8%から 10%に引き上げられるところであり、税負担の円滑、かつ適正な転嫁を基本として対処するとの考えを踏まえまして、赤平市の社会教育施設・体育施設の使用料に関しましても、この度の税率引き上げを機に実施するものであります。 以上、よろしくご審議くださいますようお願いいたします。
教 育 長	消費税導入に伴う値上げを行うため条例改正を行うこととなります。
山 本 委 員	施設の利用者は減少傾向にあるですか。
社会教育課長	全てとは言い切れませんが、ほとんどが人口減少によります利用者の減少が占めている。
山 本 委 員	止むを得ないですね。
教 育 長	議案第 2 号から議案第 7 号について 了
学校教育課長	議案第 8 号 令和元年度赤平市人材育成・定住促進奨学生の決定についてご説明いたします。 赤平市しごと・ひと・まち創生総合戦略の施策として平成 28 年度より本制度を開始しておりますが、令和元年度赤平市人材育成・定住促進奨学金の貸し付けを申し出た者につきまして、下段のとおり「赤平市人材育成・定住促進奨学金貸与条例」第 3 条において、奨学生は、その在学する、又は在学した学校等の長の推薦した者の中から、赤平市教育委員会が決定すると規定されていますことから、本委員会で選定するものです。 なお、4 月 26 日開催の第 5 回教育委員会以降 5 月 30 日までに申請のあ

	<p>りました、27 ページの別紙候補者について付議するものです。</p> <p>申請のあった者は 2 名で、奨学生の資格について事務局にて審査を行った結果、特に問題のある申請者はおりませんでしたので、申請者全員を「貸付可」としてよろしいか、お伺いするものです。</p> <p>34-1 ページにつきましては、申請者の家族状況、世帯の所得状況等を記載した「申請者一覧」となっております。なお、「申請者一覧」につきましては、審議終了後、回収させていただきます。</p> <p>以上、よろしくご審議くださいますようお願いいたします。</p>
教 育 長	議案第 8 号 について 了
学校教育課長	<p>議案第 9 号 令和元年度赤平市教育行政執行方針について、別紙のとおり、赤平市議会第 2 回定例会に提案したいので、これを付議するものです。</p> <p>なお、執行方針は別紙のとおりです。</p> <p>第 5 回教育委員会でも配布しており、ご審議賜りますようよろしくお願いいたします。</p>
教 育 長	前回お配りした執行方針から、字句の訂正等、微調整を行っています。お気づきの点があれば、ご意見をいただきたい。
坪 谷 委 員	12 ページ、ICT の活用について浸透しているものと思いますので、強調しても良いのでは。活用が進んでいると思います。
教 育 長	中学校でも新しくし、小学校も 3~4 年前から取組んでいます。しごと・ひと・まち総合戦略の中で行っておりますので、その意味では、ご意見のとおりです。
山 本 委 員	20 ページの移動図書館について、東公民館から移動とあるが。
社会教育課長	<p>東公民館での貸出しが無くなって来た事から、東地区で行っていなかった平岸コミセンと、市街地の中央には図書館もありますし、西地区の文京生活館で行います。1~2 年行い、成果が上がらなければ、検討をします。</p> <p>東西で 1 箇所ずつ行うこととしました。また、茂尻小学校のみで行ってききましたが、豊里小学校でも行うこととしました。</p>
山 本 委 員	市民パークゴルフ場の場所は、今後どうなるのか
社会教育課長	<p>第 5 次赤平市総合計画が延長となり、31 年度(令和元年度)で終了しますが、これが上位計画となり、そのなかで社会教育委員の賛同を得ながら、5 年計画の「社会教育中期計画」を作ります。現パークゴルフ場は、河川災害が原因で無料化となっておりますが、このままで良いのか。一方、無料化のままという話も聞いております。また、河川災害の心配もありますので、ズリ山展望広場周辺は土地も広く、バス停からも近くなり、総合</p>

	<p>体育館からの近く管理しやすい事から検討をしているところです。現段階で、この土地を含めて社会教育中期計画に盛り込むべく協議をし、検討をしていただきたいと思います。</p>
教 育 長	<p>現段階では、場所の固定はできないので、河川敷パークゴルフ場の利用し続けるのを含めて検討されるということでご理解ください。テニスコートについても総合体育館の横に作って欲しいとの声もあります。</p>
社会教育課長	<p>市営テニスコートについて、公共施設管理計画のなかでうたわれており現在の場所は借地であることから、プールの横は市有地であり、体育施設と隣接しており管理しやすくなりますが、現在も使用可能な施設でありことから今後の検討対象となります。赤平中のテニスコートも校舎除却とともに廃止し、大町も利用者も無く、老朽している事から年度内に廃止をします。茂尻は若干ですが利用者もおりますので現状維持です。高齢者大学についても本年度実施する予定です。1回のみではなく、複数回参加していただき、卒業となります。詳細は決まっておりますが、夏・秋ぐらいには実施を考えています。</p>
山 本 委 員	<p>何歳以上が対象ですか。</p>
社会教育課長	<p>65歳以上となります。昔は廃止されている公民館で行っていました。</p>
坪 谷 委 員	<p>14 ページ 緊急時の連絡体制について、学校の連絡網はメール等で行うことになると思うが、現状は。</p>
総務・学校教育担当主幹	<p>校長会議で投げ掛けをしました。個人情報にもなりますので、強制的ではなく希望者のみの対応になると思います。</p>
坪 谷 委 員	<p>従来の連絡網では、不便を感じました。緊急連絡は大事ですので、一括送信できる。</p>
総務・学校教育担当主幹	<p>熊本の業者が無料で行っており、九州を中心に全国の小中高学校等が利用しているので、安心と感じている。</p>
教 育 長	<p>議案第9号 令和元年度赤平市教育行政執行方針について 了</p>
学校教育課長	<p>7 その他について、お手元にお配りしております「赤平市公設塾登録児童・生徒数」ですが、4月10日に、市内小中学校の児童・生徒を通して全ての保護者に対し、公設塾の案内を行い、昨年度の9月から2月までの開設期間を拡充し、本年度は5月15日から2月末までの期間開設いたします。小学生を対象とした子ども塾の登録児童数は、5月28日現在、合計で81人、全児童数の26.6%となっており、中学生を対象とした公設学習塾の登録生徒数は合計で27人、全生徒数の17.0%となっております。</p> <p>昨年度の登録児童数・登録生徒数と比較しますと、ともに若干下回ってお</p>

	りますが、今後、徐々に増加するものと思われます。
山本委員	赤間小の6年は空欄となっていますが。
学校教育課長	0人です。昨年5年生の時も1人か2人と少なかった。 今後、拡充という意味で、予算的には倍になりますが、アンケートの結果を踏まえて、数学以外に、来年、中学で英語を入れることも協議していきます。
山本委員	中学校は、部活終了後ですか。
学校教育課長	部活終了後の時間設定で行っています。昨年、始めは少なかったが、徐々に増えてきたことから、今後も期待しています。
坪谷委員	目的が、放課後時間のある児童生徒を対象としていることから、民間塾に通っている子ども以外が通えればと思います。
社会教育課長	3点についてご報告させていただきます。 1点目ではありますが、5月19日に小学生を対象とした北翔大学との連携事業による「こども体力測定会・走り方教室」を開催いたしました。今回は逆に天候が良すぎて屋外の気温も高かったせいも、また、家族で出かけたのか、残念ながら当日11名の子どもが欠席し、37名の参加となりました。また、当日は、熱い熱いと言われる子どもも複数いたため、熱中症の心配・体調も考えて、大学教授から相談を受け、旧中央中学校グラウンドでのソフトボール投げを中止として、走り方教室のみ行い、その後総合体育館へ移動し、6種目の体力測定会を行いました。明日からの運動会に期待しております。 2点目ではありますが、5月26日に今回が最後の予定となっており、3年目となるズリ山展望広場記念植樹会を開催いたしました。今回は小学生6名、中学生2名、大人2名、合計10名に参加していただき、前年度より20名少ない状況でした。 3点目ではありますが、「炭鉱遺産ガイダンス施設」につきまして、一般社団法人・照明学会北海道支部により、毎年、その年に道内において竣工した優秀な照明施設の審査によって表彰を行っており、2018年・北海道優秀照明施設賞として、本年5月15日に赤平市炭鉱遺産ガイダンス施設も歴史展示物に見合った照明として評価され表彰されました。 また、報道で発表されておりますが、赤平市・小樽市・室蘭市・夕張市・岩見沢市・美唄市・芦別市・三笠市・栗山町・月形町・沼田町・安平町の8市4町による、北の産業革命「炭鉄港」として、国の文化庁の審査により、5月20日に日本遺産登録となりました。 企画課が主体となりますが、今後、国の7千万円の交付金を活用し、8市

	4町が連携した観光がメインとなりますので、観光ツアーなど、観光客を呼び込むための事業協議が進められ実施して参ります。以上であります。
指 導 主 事	<p>コミュニティ・スクールの経過報告について説明いたします。資料をご覧ください。3ページ目 今年度からスタートします運営協議会の委員構成一覧になります。PTA 会長他、校区の代表の方など、4名ずつ委員となっております。16名となります。この他に委員とは別に、教頭も運営に携わる事から加わります。</p> <p>2ページ 今後2年間の日程ですが、主な内容について記載しております。年4回開催し、6/10に第1回目の運営協議会を開催します。中身は右側の四角で囲んだところを協議します。初回ですので、説明と取決めが多くなりますが、学校と地域が相互理解を深めることとなります。地域は学校を知ることになり、学校は地域を知ることになる。2回目以降、学力状況報告、生徒指導の実態や教育活動の意見交換等について行い、学校関係者評価についても制度上残りますので評価計画の審議も行ないます。</p> <p>1ページに戻り、学校の動きを知ることが重点について重きを置いて協議を進めていきます。2番目は、学校運営の基本承認となります。4番目は、学校運営の重点を中心に説明をいただき、その後の様子を関係評価で評価して頂く事になります。5番目、本旨となりますが、学校運営協議会だけの課題ではなく、学校は地域とともに手を携えながら学校教育が充実するようになればと思っております。まず、初年度は知ることがテーマになります。</p>
学校教育課長	次回の教育委員会を、6月26日（水）午後3時より開催いたします。
	署名委員
	署名委員
	書 記 学校教育課 総務・学校教育担当主幹